



TITLE:

平成8年度センター業績 (1996年4月1日 - 1997年3月31日)

AUTHOR(S):

CITATION:

平成8年度センター業績 (1996年4月1日 - 1997年3月31日). 京都大学高等教育研究 1997, 3: 184-187

ISSUE DATE:

1997-10-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/53518>

RIGHT:

平成8年度センター業績

(1996年4月1日～1997年3月31日)

梶田 叡一 (教授)

【著作】

- ・梶田叡一『〈自己〉を育てる』金子書房 (1996年5月)
- ・梶田叡一責任編集『学習環境を創る／教育フォーラム18』金子書房 (1996年4月)
- ・梶田叡一責任編集『生きる力を育てる／教育フォーラム19』金子書房 (1996年11月)
- ・梶田叡一監修『信州教育の水脈 (信州大学附属松本中学校50年史)』[正・続] 郷土出版社 (1996年10月)
- ・梶田叡一「教育研究における“フィールドの知”」／和田修二・皇紀夫 (編)『臨床教育学』(アカデミア出版会) 第9章 (1996年9月)
- ・梶田叡一「カトリック大学・短期大学の改組・再編」カトリック教育研究、第13号、1996年9月、86～87
- ・梶田叡一「学校教育の光と影と」人間性心理学研究、1996年12月、第14巻、232～237

【学会報告等】

- ・日本心理学会大会 (立教大学) ワークショップ25「心理学の授業をどう評価するか——効果的教授法の開発を目指して」指定討論者 (1996年9月11日)
- ・日本人間性心理学会大会 (名古屋大学) シンポジウム「学校教育と人間性をめぐって」指定討論者 (1996年9月16日)
- ・日本乳幼児教育学会 (大阪教育大学) シンポジウム「偏見の中の幼児」パネリスト (1996年11月24日)

【社会的活動等】

- ・最高裁判所／家庭裁判所調査官試験委員会臨時委員
- ・文部省高等教育局／マルチメディアを活用した21世紀の高等教育のあり方に関する懇談会メンバー (～96年6月)
- ・大学基準協会／平成8年度相互評価委員会文学系専門評価分科会委員
- ・兵庫県教育委員会／子どもたちに生きる力を育む教育懇話会委員 (～96年8月)
- ・大阪市教育センター／研究顧問
- ・箕面市教育委員 (委員長職務代理／11月より委員長)
- ・兵庫教育大学参与
- ・放送大学客員教授
- ・帝塚山学院大学国際理解研究所客員教授
- ・ノートルダム清心女子大学大学院生活科学研究科非常勤講師
- ・関西大学大学院文学研究科非常勤講師

【主要な講演・講義等】

- ・神戸大学大学教育センター第4回研究集会・基調講演「大学人のライフコースを考える」(1996年10月8日)
- ・神戸学院大学教員組合主催ワークショップ・基調講演「神戸学院大学の教育改革」(1997年2月3日)
- ・熊本大学工学部主催講演会「大学教育の質を改善・改革する」(1997年2月10日)
- ・筑波大学教育計画室主催講演会「大学教育の改善・改革」(1997年3月11日)

田中 毎実 (教授)

【著作】

- ・田中毎実「発達と教育の論理——その「ライフサイクル論」と「相互性論」への再編成」(原聰介編『教育の本質と可能性』八千代出版) (1996年7月)

【論文その他】

- ・田中毎実「書評／三木博著『ユング個性化思想の構造』」（教育哲学会『教育哲学研究』第73号）（1996年5月）
- ・田中毎実「定時公開授業「ライフサイクルと教育(1)——平成8年度実施のために」」（『京都大学高等教育研究』第2号）（1996年6月）
- ・田中毎実「海図のない航海で海図を作る——「教育学教育」の可能性」（四国地区—日本教育学会『「教育学教育」を考える』）（1997年3月）

【学会報告等】

- ・フォーラム2「鷲野克己：恫喝としての同一性」／司会（近代教育思想史研究会第9回大会、中央大学記念講堂）（1996年10月）
- ・研究討議「教師の存在論」／司会（教育哲学会第39回大会、東京学芸大学）（1996年10月）
- ・シンポジウム「教育学教育を考える」／総括（日本教育学会／地区研究活動活性化事業、香川大学教育学部）（1996年12月）
- ・第3回大学教育改革フォーラム「大学教育の個性化をどう進めるか」／コメンテーター（京都大学高等教育教授システム開発センター）（1996年12月）

【大学教授法等に関する講演等】

南山大学（1996年10月）／茨城大学（1996年11月）／淑徳大学（1997年4月）

石 村 雅 雄（助教授）

【著作】

- ・石村雅雄「高校入試制度の多様化と課題」（田原迫龍磨・仙波克也・有吉英樹編著『教育行政の課題と展開（第2版）』コレール社）（1996年10月）

【論文その他】

- ・石村雅雄「現代フランス大学における管理・運営の問題点」（『京都大学高等教育研究』第2号）（1996年6月）
- ・石村雅雄「日本の高等教育政策の現状と問題点——文部省教育白書第1部を読む——」（『京都大学高等教育研究』第2号）（1996年6月）
- ・石村雅雄「新刊紹介：天野郁夫・吉本圭一編『学習社会におけるマス高等教育の構造と機能に関する研究』（広島大学大学教育研究センター『大学論集』第26号）（1997年3月）

【学会報告等】

- ・石村雅雄・金子勉・雲尾周「日本の高等教育政策の現状と問題点」（関西教育行政学会5月例会、龍谷大学）（1996年5月）
- ・木岡一明・岩田康之・尾上雅信・大谷奨・金子勉・北神正行・雲尾周・榊原禎宏・竺沙知章・西山薫・浜田博文・船寄俊雄・堀井啓幸・山田朋子、石村雅雄「戦後『教育学部』史研究(2)——1954年免許法改正前後における中等教員養成の展開——」（日本教育学会第55回大会、京都大学）（1996年8月）
- ・馬場将光・石村雅雄（企画、司会、議論の総括担当）「課題別セッション：高等教育改革試論」（日本教育制度学会第4回大会、静岡大学）（1996年10月）

【社会的活動等】

- ・広島大学大学教育研究センター客員研究員
- ・同志社大学文学部嘱託講師
- ・光華女子大学文学部非常勤講師
- ・第5回大学デー・シンポジウム「山岸駿介・和田龍幸：今、大学教育に求められるもの」／コメンテーター（1996年5月）

杉 本 均 (助手)

【学位論文】

- ・Hitoshi Sugimoto “Malaysian Education from an International Perspective: The Changing Role of the British-Malaysian Relationship and the Look East Policy” 博士論文 (Ph. D.) (英国レディング大学教育および地域研究学部) (1996年12月)

【論文】

- ・杉本 均「高等教育における科学と哲学：アジアイスラム社会の視点－その2－」(『京都大学高等教育研究』第2号、165～183頁) (1996年7月)
- ・杉本 均「マレーシアにおけるスタッフ・ディベロップメントの展開と動向」(『大学教授法に関する基礎的研究』京都大学高等教育教授システム開発センター高等教育叢書2、31～41頁) (1997年2月提出)
- ・杉本 均「アメリカの大学におけるティーチング・ポートフォリオ活用の動向」(『大学教授法に関する基礎的研究』京都大学高等教育教授システム開発センター高等教育叢書2、14～30頁) (1997年2月提出)

【翻訳】

- ・J. ウィルキンソン著、杉本 均訳「高等教育における教育（ティーチング）の『質』：その基準、測定および向上」(『京都大学高等教育研究』第2号、41～45頁) (1996年7月)

【学会発表等】

- ・杉本 均「多文化教育から『多文明教育』へ(?)：マレーシア国際イスラム大学の事例より」(日本比較教育学会第32回大会、青山学院大学、課題研究「エスニック・マイノリティの教育課題」における報告) (1996年6月)
- ・杉本 均「高等教育における科学と宗教：マレーシアの事例より」(国立民族学博物館共同研究会「東南アジアにおける社会倫理の人類学的研究」における報告) (1997年2月)

【社会的活動等】

- ・京都大学教育学部学内非常勤講師
- ・京都教育大学非常勤講師
- ・仏教大学非常勤講師
- ・日本国際協力事業団大阪国際センター非常勤講師

溝 上 慎 一 (助手)

【著作】

- ・溝上慎一「生き方における『自分』とは?～生き方教育はなぜ必要なのか」(人間教育研究協議会編『教育フォーラム19；〈生きる力〉を育てる』金子書房) (1996年11月)
- ・梶田叡一・溝上慎一・浅田匡「京都大学卒業者の意識調査～京都大学で受けた教育の評価と人生観」京都大学高等教育叢書1 (1997年3月)

【論文等】

- ・吉田圭吾・溝上慎一「プライバシー志向性尺度(本邦版)に関する検討」(日本心理学会『心理学研究』第67巻第1号) (1996年5月)
- ・溝上慎一「大学生の学習意欲」(『京都大学高等教育研究』第2号) (1996年6月)
- ・堀川諭・溝上慎一「小規模大学における精神保健援助システム導入の試み(1)～生活実態調査の検討」(全国大学保健管理協会『第34回全国大学保健管理研究集会報告書』) (1996年12月)

【学会報告等】

- ・溝上慎一・尾崎仁美「自己評価における次元の検討Ⅰ」(日本心理学会第60回大会、立教大学) (1996年10月)
- ・尾崎仁美・溝上慎一「自己評価における次元の検討Ⅱ」(日本心理学会第60回大会、立教大学) (1996年10月)
- ・溝上慎一「個性記述的視点の導入における内在的・外在的視点の意味～自己評価の規定要因を用いて」(日本教育心理学会第38回大会、筑波大学) (1996年11月)
- ・水間玲子・溝上慎一「自己評価における次元の検討Ⅲ～Rosenberg scale 再考」(日本発達心理学会第8回大会、

大阪大学) (1997年3月)

- 尾崎仁美・溝上慎一「自己評価における次元の検討Ⅳ～Rosenberg scale 再考」(日本発達心理学会第8回大会、大阪大学) (1997年3月)
- 溝上慎一・尾崎仁美「自己評価における次元の検討Ⅴ～Rosenberg scale 再考から日本的自己論」(日本発達心理学会第8回大会、大阪大学) (1997年3月)